

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県港北警察署協議会
日 時	令和5年7月20日（木）午後2時から午後4時8分までの間
場 所	神奈川県港北警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 土橋健児 天野康代 梅 信子 小松高志 猿渡 功 鈴木 正 千葉七枝 西村志真子 勝島健司 本多たけ子 防後優子 三辻 訓 八重樫道晴 横溝和寛 和田真志 計15人</p> <p>2 警察署側 署長 加藤秋人 副署長 嶋下昭宏 地域担当次長 嶋川岳大 刑事兼生活安全担当次長 渡邊智仁 警備担当次長 渡邊和重 警務課長 宮田 晃 生活安全課長 高橋敏行 刑事第一課長 富田真之介 刑事第二課長 吉田 慎 交通課長 下田憲司 警備課長 関根慎一郎 計11人</p>
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明
	「G7広島サミット等開催に向けた諸対策」について
	1 答申
	(1) 多様な情報発信の推進
	(2) 防犯カメラの設置促進などの防犯対策の強化推進
	(3) 見せる警戒の継続強化
	(4) 一般人への啓蒙・周知取組の強化推進
2 措置結果	
(1) 警察署ホームページや民間企業の大型電子掲示板などを活用し情報発信を実施した。 また、町内会へ警戒警備協力依頼のチラシを配布し、回覧板での情報発信を依頼した。	
(2) 新横浜地区を中心とした防犯カメラの設置促進、相鉄及び東急新横浜駅を中心に新規防犯カメラの設置促進を実施した。 今後も再開発地区も含め、民間に防犯カメラの設置を促していく。	
(3) 公共交通機関や大規模集客施設における制服警察官による警戒を強化した。	
(4) 港北署安心安全協力会を開催し、G7広島サミット等の開催に向けた警戒警備について、協力を依頼した。	
諮問	
「還付金詐欺・架空料金請求詐欺・オレオレ詐欺の抑止対策」について	
答申	
1 金融機関・コンビニ業界・店員等への協力依頼・防犯指導の継続強化してはどうか。	
2 関係機関と連携した迷惑電話防止機能付き留守番電話機の更なる普及促進と高齢者家族への働き掛けを強化してはどうか。	
3 自治会・デイケア等と連携した啓発活動や高齢者に対する支援を強化してはどうか。	
業務説明	
令和5年4月から6月までの業務推進結果と令和5年7月から9月までの業務推進重点について説明を行った。	